

事務所からのお知らせ

● 富士法務総合庁舎現場見学会を開催しました。

公共建築の日記念イベントとして、建築を学んでいる学生（参加者約50名）を対象に、建築の現場に対する知識と公共建築への理解を深めることを目的として、現在建設中の富士法務総合庁舎において現場見学会を開催しました。

今回は、建設現場における「仕上げ・設備工事の施工時の検討手法」をメインテーマとし、

- ・配置や納まりの検討
- ・使い勝手をよくするための検討
- ・使用時に不具合が発生しないための検討

などの検討手法について分かりやすく説明を行うため、実際に工事において使用している資料・ツール(施工図・BIM)を用意しました。

当日はまず、設計者より設計概要・設計主旨の説明を行い、引き続き仕上げ工事の検討ツールとして活用したBIM(ビルディングインフォメーションモデル)の概要説明を行いました。

BIMはリアルタイムに3次元空間を確認できるという特徴があり、それらを実際に活用した例をスクリーンに立体映像を映しながら、現場代理人より説明を行いました。サインなどの配置や色彩、各部の納まりを施工・監理・発注者との打合せ時に使用しシミュレーションすることで、予めリスクを発見することが出来たり、細かいところまで目を配らせることが出来たなど、良かった点や問題点を交えながら説明を行いました。

建物見学は①BIMデモンストレーション②機械室③太陽光発電設備④設計説明の4つのゾーンに分け、設計図や説明パネルを掲示して実際の検討手法を交えながら説明を行いました。

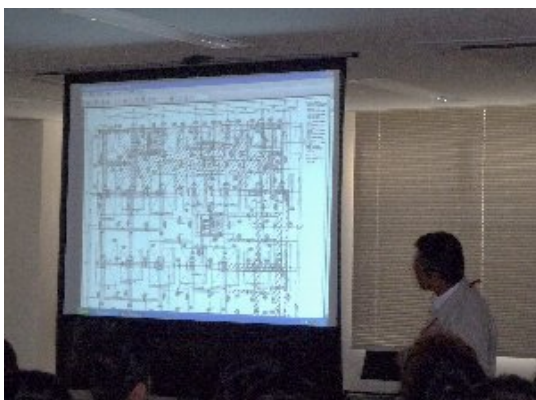
見学会後に行ったアンケートでは、BIMの説明や現場見学に参加できて非常に良かったとの感想を多く頂きました。



熱心に聞き入る学生



設計者より設計概要・設計主旨の説明



現場代理人より施工図の説明



BIMの立体映像を体験



床下配線などの説明



太陽光発電設備の説明



色彩計画などの説明



BIMで作成したパースと実物とを比較説明